

次号予告 2026 年 7 月号 Vol.33 No.7

[徹底分析シリーズ] プラネタリーヘルスと麻酔

◆ プラネタリーヘルスとは

市立貝塚病院 麻酔科・中央材料室 水谷 光

◆ 吸入麻酔薬の環境負荷

国際医療福祉大学市川病院 総合診療科 梶 有貴

◆ 区域麻酔や全静脈麻酔薬は地球に優しい麻酔？

杏林大学医学部付属杉並病院 麻酔科 鶴澤 康二・増田 恵里香・田淵 沙織

◆ 手術部から出る廃棄物

水谷 光

◆ 医療施設としての取り組み

岡山協立病院 総合診療科・救急科 横田 啓

◆ 環境教育の現在地

京都府地球温暖化防止活動推進センター/総合地球環境学研究所 木原 浩貴

[症例カンファレンス] 後頭骨頸椎固定術後の再調整術

症例提示：兵庫県立西宮病院 麻酔科 古賀 聡人

JCHO 徳山中央病院 麻酔科 坂本 誠史

大阪ろうさい病院 麻酔科 奥村 一仁

新潟大学医学部総合病院 高度救命救急センター・集中治療部 晝間 優隆

[連載]

● 快人快説

日本から脳波モニタリングの研究を発信する！ 特定臨床研究の物語

聖路加国際病院 麻酔科 宮坂 清之

● こどものことをもっと知ろう

小児の虫歯

愛知学院大学歯学部 小児歯科学講座 名和 弘幸

● 今さら聞けない手術手技

内視鏡下鼻副鼻腔手術

大阪ろうさい病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 西池 季隆

● グリーン麻酔科医への道

Fiona Stanley Hospital での取り組み③

つくばみらい遠藤レディースクリニック
一般社団法人みどりのドクターズ 事務局メンバー 岡原 祥子

◆◆◆ our favorite ◆◆◆

耳慣れない言葉かもしれませんが、医療者として、麻酔科医として取り得る対策を、本企画から一つでも見つけてもらえると嬉しいです。(H)

個人的には PFAS がすごく気になっています。(E)

脱炭素はしんどい！忍耐を強いるだけ。夏場にエアコン 28℃じゃ熱中症になるよ！ そう思っている方にこそ読んでほしいと思います。(H)

タイトルだけでいや～な感じがしますね。557 ページを読んで自分ならどうするか、考えておこう。(E)

こうした苦勞の末に得た知見を土台に今の医療があるのだ。(E)

改めて、虫歯についておさらいしましょう。仕上げ磨きの必要性についても言及があります。(N)

徹底分析シリーズともリンクする、手術室内でのリサイクルの話です。合わせてお読みください。(N)

読者アンケートから

2026 年 4 月号徹底分析シリーズ「手術場での急変対応」に寄せられたコメントは、チーム医療の必要性を痛感させられたとするものから、チーム医療というより実態は麻酔科医による対応なのでは？とするものまで、さまざまでした。

- ◆ 実態に即した例で参考になりました。
- ◆ チーム医療の時代を改めて痛感させられる、素晴らしい内容でした。
- ◆ タイトルはチーム医療だが、内容は麻酔科医による急変対応の印象が強く、また、各章とも充実していたがバラバラな印象もあったが、最後の仙頭先生のまとめがうまく締められていました。

また、4 月号症例ライブラリー「体幹のブロックがうまくいかない」に対しては、

- ◆ 継続を希望します！
- ◆ 区域麻酔学会の予習に役立ちました。
- ◆ 教科書とは違った視点で面白い。
- ◆ 傍脊椎ブロックと類縁の横突起間ブロックや SEDIC に関しては、頭の整理になってよかったです。

と大好評です。来年、どんな形で提供できるか、今から考え始めます。